

三浦半島地域連合・ かながわ労働センター 意見交換会開催!



6月24日(月)17時から、かながわ労働センター八尋所長以下5名と三浦半島地域連合五役8名にて意見交換会をヴェルクよこすかで開催しました。

冒頭、八尋所長から、このように対面で貴重な意見交換が出来ることへの感謝と、全体相談件数は減っているものの、雇止め・解雇・退職、人間関係の相談が上位をしめ、働く者の相談は依然として厳しい内容になっているとの話がありました。

次に及川議長からは、どのような相談が多いのかなどを確認・把握して、今後の地域連合の活動に繋げて行きたいと挨拶

がありました。

挨拶の後は、かながわ労働センターより、大きく下記、4点の説明を受けました。

- ① かながわ労働センターリーフレット・概況説明
- ② 令和5年度労働組合基礎調査の概要
- ③ 令和5年度神奈川県労働相談概況

労働組合基礎調査では組合数は2,240組合(38組合減)となり、13年連続で減少、組合員人数14,368名減の573,630人で、推定組織率も16.0%と依然減少傾向であることなどの報告を受けました。

相談内容は全体の件数は2.2%減少したものの、人間関係に関わる項目が昨年度と比べて11.8%増加し、ハラスメント系の相談が多いことなどを知ることが出来ました。

三浦半島地域連合の活動を紹介した後に意見交換となり、質疑では組合があるにも関わらず、相談してくる方の傾向やカスハラなどについての意見交換が出され、組合があっても非正規社員からは組合の存在が知られていない、距離があるなどの意見があることを知ることが出来ました。

今回得た情報を精査して、2025年度に向けた三浦半島地域連合政策・制度要求と提言の充実につなげていきます。

